



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,773	12.3	360	44.0	400	44.3	220	△17.3
26年3月期第2四半期	5,140	33.3	250	105.7	277	105.5	266	113.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 214百万円(△20.7%) 26年3月期第2四半期 270百万円(141.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	46.87	—
26年3月期第2四半期	56.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	11,831	5,511	46.6
26年3月期	11,067	5,333	48.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 5,511百万円 26年3月期 5,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,626	8.4	470	8.9	499	8.6	287	△33.4	61.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	4,746,000株	26年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	40,889株	26年3月期	40,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	4,705,111株	26年3月期2Q	4,705,111株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策や金融政策などを背景に景気下振れリスクを支える効果があったものの、円安進行による原材料価格の上昇や消費税増税前の駆け込み需要の反動減等により個人消費の回復がやや弱含みで推移するなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループを取り巻く事業環境は、主原料（魚粉・小麦粉）価格が高止まりしているほか、消費者の節約・低価格志向が継続していることなどから、企業間の価格競争が続く厳しい経営環境で推移いたしました。

こうした環境の下、当社グループは市場動向を見極めながら積極的な販売活動を展開するとともに、生産性の効率化、材料コストの削減及び低採算商品の見直しに努め、売上成長を模索しながら利益重視の経営に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は57億73百万円と前年同期と比べ6億33百万円（12.3%）の増収、営業利益は3億60百万円と前年同期と比べ1億10百万円（44.0%）の増益、経常利益は4億円と前年同期と比べ1億22百万円（44.3%）の増益、四半期純利益は特別利益・損失の発生がなかったこと（前年同期は特別利益「負ののれん発生益」92百万円）や法人税等が増加したことから2億20百万円と前年同期と比べ46百万円（17.3%）の減益となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、摂餌が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、当第2四半期連結会計期間の売上高及び売上原価は、第1四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間と比べ増加する傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①水産事業

水産事業におきましては、中南米の輸入魚粉マーケットは、魚粉原料の生産量が低調で高騰していることや中国を主体にアジア各国向けの引き合いが多いことなどから、魚粉価格は高値取引で先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、低採算商品の見直しや原価低減を進めるなか、エビ飼料類及びハマチ飼料類は養殖飼育環境が良好であったことや生産物相場も前年度と比べ高値取引であったことなどを背景に、既存顧客のシェアアップ及び受託生産販売が順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。マダイ飼料類は昨年の値上げ前駆け込み需要の反動減や価格競争等で他社メーカーに流出したことなどから売上高は前年同期を下回りました。また、マリテック株式会社（当社100%子会社、愛知県田原市）の売上高は、水産初期飼料の販売が伸びたことから前年同期を上回りました。

その結果、売上高は39億14百万円と前年同期と比べ2億26百万円（6.1%）の増収となりました。セグメント利益は3億83百万円と前年同期と比べ1億23百万円（47.5%）の増益となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、消費税率引き上げに伴い食料品の最寄品を中心に消費者の節約・低価格志向がさらに高まっていることに加え、原材料価格及び輸送コスト等の上昇から厳しい事業環境で推移いたしました。

このような状況のなか、積極的な販売活動としてテレビコマーシャルの放映や試食宣伝及びキャンペーン販売を実施するなど主力商品販売強化に努めた結果、即席めん類の売上高は前年同期を上回りましたが、乾麺類（うどん・そば・そうめん）及び皿うどん類は低調に推移いたしました。

コスモ食品株式会社（当社100%子会社、横浜市磯子区）は、定番商品の育成及び新商品の開発・販売に努めてまいりましたが、売上高は前年同期並みに推移いたしました。また、昨年7月に子会社化した株式会社向井珍味堂（当社100%子会社、大阪市平野区）の香辛調味料等の販売が売上高増に寄与しております。

その結果、売上高は18億59百万円と前年同期と比べ4億7百万円（28.0%）の増収となりました。セグメント利益は1億33百万円とほぼ前年同期並みの利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ7億64百万円増加し、118億31百万円となりました。これは、主として原材料及び貯蔵品が1億11百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が9億88百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ5億87百万円増加し、63億20百万円となりました。これは、主として長期借入金が増加したことが要因ですが、買掛金が6億80百万円、短期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億77百万円増加し、55億11百万円となりました。これは、主として利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月16日に発表いたしました業績予想の修正を行っております。

詳しくは本日付けの「平成27年3月期第2四半期の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,187,787	2,184,314
受取手形及び売掛金	1,379,581	2,368,015
有価証券	82,445	87,715
商品及び製品	443,260	424,891
仕掛品	118,076	96,026
原材料及び貯蔵品	1,149,748	1,038,495
その他	187,534	200,666
貸倒引当金	△7,168	△11,239
流動資産合計	5,541,265	6,388,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,225,575	1,205,657
機械装置及び運搬具(純額)	650,800	625,266
土地	2,093,519	2,093,519
その他(純額)	61,171	77,213
有形固定資産合計	4,031,066	4,001,657
無形固定資産		
のれん	409,313	385,236
その他	29,777	31,567
無形固定資産合計	439,091	416,803
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,117,800	1,064,711
貸倒引当金	△62,100	△40,458
投資その他の資産合計	1,055,699	1,024,253
固定資産合計	5,525,857	5,442,713
資産合計	11,067,122	11,831,599

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	397,260	1,077,345
短期借入金	1,976,562	2,210,524
未払法人税等	130,361	93,263
賞与引当金	114,518	128,702
その他	318,514	343,702
流動負債合計	2,937,218	3,853,538
固定負債		
長期借入金	2,135,880	1,832,572
役員退職慰労引当金	396,664	403,809
退職給付に係る負債	71,846	74,823
その他	191,553	155,701
固定負債合計	2,795,943	2,466,905
負債合計	5,733,162	6,320,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	4,201,484	4,384,377
自己株式	△28,968	△28,968
株主資本合計	5,234,815	5,417,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,787	85,161
繰延ヘッジ損益	39,357	8,285
その他の包括利益累計額合計	99,144	93,447
純資産合計	5,333,960	5,511,155
負債純資産合計	11,067,122	11,831,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,140,472	5,773,771
売上原価	4,051,495	4,543,139
売上総利益	1,088,976	1,230,632
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	209,464	179,176
貸倒引当金繰入額	31,441	5,057
給料及び賞与	201,631	225,830
賞与引当金繰入額	33,240	48,325
役員退職慰労引当金繰入額	6,160	7,845
その他	356,914	404,097
販売費及び一般管理費合計	838,852	870,332
営業利益	250,124	360,300
営業外収益		
受取利息	190	269
受取配当金	2,576	2,573
為替差益	12,848	24,118
受取保険金	2,252	15,900
雑収入	25,047	14,245
営業外収益合計	42,915	57,107
営業外費用		
支払利息	15,585	14,532
雑損失	217	2,872
営業外費用合計	15,803	17,404
経常利益	277,236	400,002
特別利益		
負ののれん発生益	92,765	-
特別利益合計	92,765	-
税金等調整前四半期純利益	370,002	400,002
法人税、住民税及び事業税	79,350	101,210
法人税等調整額	24,067	78,258
法人税等合計	103,418	179,468
少数株主損益調整前四半期純利益	266,584	220,533
四半期純利益	266,584	220,533

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	266,584	220,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,297	25,373
繰延ヘッジ損益	3,006	△31,071
その他の包括利益合計	4,304	△5,697
四半期包括利益	270,888	214,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,888	214,836
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	370,002	400,002
減価償却費	143,841	142,782
のれん償却額	24,077	24,077
負ののれん発生益	△92,765	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16,093	△17,570
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,995	14,183
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,267	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,160	7,145
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	2,976
受取利息及び受取配当金	△2,767	△2,842
支払利息	15,585	14,532
為替差損益(△は益)	△11,779	△30,666
受取保険金	△2,252	△15,900
売上債権の増減額(△は増加)	△499,327	△988,434
たな卸資産の増減額(△は増加)	100,979	151,671
仕入債務の増減額(△は減少)	211,026	680,084
その他	△52,231	△16,919
小計	222,913	365,121
利息及び配当金の受取額	2,787	2,847
利息の支払額	△16,939	△12,117
保険金の受取額	2,259	2,825
法人税等の還付額	235,953	584
法人税等の支払額	△8,105	△137,023
営業活動によるキャッシュ・フロー	438,870	222,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△183,082	△894,827
定期預金の払戻による収入	136,045	938,319
有形固定資産の取得による支出	△128,323	△121,051
有形固定資産の売却による収入	61,118	55
無形固定資産の取得による支出	△1,280	△5,927
投資有価証券の取得による支出	△9,047	△5,224
投資有価証券の売却及び償還による収入	7,180	1,650
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△357,555	-
その他	△1,862	△16,574
投資活動によるキャッシュ・フロー	△476,808	△103,580
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△280,000	245,000
長期借入れによる収入	1,030,000	-
長期借入金の返済による支出	△278,020	△314,346
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,273	△1,273
配当金の支払額	△37,640	△33,413
財務活動によるキャッシュ・フロー	433,065	△104,033
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,779	30,666
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	406,907	45,289
現金及び現金同等物の期首残高	1,293,809	1,696,220
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,700,716	1,741,509

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,688,294	1,452,178	5,140,472	—	5,140,472
セグメント利益	259,767	133,595	393,362	△116,126	277,236

(注) 1 セグメント利益の調整額△116,126千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費116,661千円、営業外収益9,823千円、営業外費用9,287千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間に株式会社向井珍味堂を連結子会社化したことを主因として、前連結会計年度の末日と比べて当第2四半期連結会計期間末の「食品事業」セグメント資産の金額が840,573千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「食品事業」セグメントにおいて、株式会社向井珍味堂の全株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これにより当第2四半期連結累計期間において特別利益に負ののれん発生益が92,765千円計上されております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,914,326	1,859,445	5,773,771	—	5,773,771
セグメント利益	383,217	133,214	516,431	△116,428	400,002

(注) 1 セグメント利益の調整額△116,428千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費137,181千円、営業外収益29,454千円、営業外費用8,701千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。